

発行日 11-10-2016

改訂日 11-10-2016

改定番号 1

日本 / 日本語 (Japanese)

## 1. 製品および会社情報

### 製品特定名

製品名 MetaDi Ultra Paste  
製品コード 40-1-6301, 40-1-6303, 40-1-6305, 40-1-6307, 40-1-6309  
(M)SDS番号 1353237\_J

### その他の識別手段

別名 利用可能な情報はない  
Registration Number 利用可能な情報はない

### 化学薬品の推奨用途および使用制限

推奨用途 Laboratory Use Only  
推奨されない使用 利用可能な情報はない

### 安全データシートの提供者の詳細

製造業者 Buehler  
製造者の住所 住所：〒108-0022 東京都港区海岸3-9-15 L00P-X 6F  
電話番号 電話番号：03-5439-5077  
電子メールアドレス info.japan@buehler.com

### 緊急連絡電話番号

Global Access Code: 334545  
Asia Pacific: +1 760 476 3960  
Middle East/Africa: +1 760 476 3959  
Japan: +81 36 8908677  
Americas: +1 760 476 3962  
Europe: +1 760 476 3961

## 2. 危険有害性の要約

### GHS 分類

皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 1
特定標的臓器毒性(反復暴露)	区分 2
急性水生毒性	区分 2
慢性水生毒性	区分 2

### ラベル要素



注意喚起語

危険

## 危険有害性情報

H315 - 皮膚刺激  
 H318 - 重篤な眼の損傷  
 H373 - 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ  
 H411 - 長期継続的影響によって水生生物に毒性

## 注意書き - 予防

取扱後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと  
 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと  
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと  
 環境への放出を避けること  
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を使用すること

## 注意書き - 対応

特別な処置が必要である(このラベルの応急措置についての補足指示を見よ)  
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること  
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること  
 直ちに毒物センターまたは医師に連絡すること  
 皮膚に付着した場合：多量の水と石けん(鹼)で洗うこと  
 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること  
 汚染された衣類を全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること  
 漏出物を回収すること

## 注意書き - 保管

施錠して保管すること

## 注意書き - 廃棄

内容物/容器を承認を受けている廃棄物処理施設に廃棄すること

## その他の危険有害性

該当せず

## 3. 組成及び成分情報

## 単一化学物質

該当せず

## 混合物

化学物質名	Percent	Inventory - Japan - Existing and New Chemical Substances (ENCS)	ISHL番号	CAS-No
Water	30 - 60%	利用可能な情報はない	利用可能な情報はない	7732-18-5
Di amond	1 - 30%	利用可能な情報はない	利用可能な情報はない	7782-40-3
n-Octadecyl ami ne	5 - 15%	利用可能な情報はない	利用可能な情報はない	124-30-1
Di propyl ene glycol	3 - 10%	利用可能な情報はない	利用可能な情報はない	25265-71-8
Pol yethyl ene glycol phenyl ether phosphate	1 - 5%	利用可能な情報はない	利用可能な情報はない	39464-70-5
Alcohol s, C12-20, ethoxyl ated	1 - 5%	利用可能な情報はない	利用可能な情報はない	68526-94-3
BHT	< 1%	利用可能な情報はない	利用可能な情報はない	128-37-0

## 環境汚染排出 移動登録 (PRTR)

該当せず

化学物質名	Percent	クラス	政令番号	関連物質、変換係

				数
BHT 128-37-0	< 1%	第1種指定化学物質		

**労働安全衛生法**

ISHL(労働安全衛生法規則)通知物質-情報(安全データシート)を供給すべき物質;労働安全衛生法施行令別表第9(労働安全衛生法第57条の2およびISHL規則第34条の2の4関係)

化学物質名	ISHL要届出物質	限界値(%)
BHT 128-37-0	ISHL要届出物質	0.1

毒物および劇物取締法 該当せず

## 4. 応急措置

### 応急措置

一般的なアドバイス	直ちに医師の手当てを受ける必要がある。治療を行う医師にこの安全性データシートを示すこと。
吸入	空気の新鮮な場所に移すこと。肺に吸引されると重篤な肺障害を引き起こすことがある。呼吸が停止している場合には、人工呼吸を行うこと。直ちに医師の手当てを受けること。皮膚に直接触れないようにすること。口対口の人工呼吸を行う際はバリアを使用すること。呼吸が困難な場合には、(資格のある者が)酸素吸入を行うこと。直ちに医師の診断/手当てを受けること。遅発性の肺水腫が生じるおそれがある。
眼との接触	直ちに医師の診断/手当てを受けること。少なくとも15分間、まぶたの裏側まで多量の水で洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。洗っている間、目を大きく開くこと。受傷部をこすってはならない。
皮膚接触	直ちに石鹸と多量の水で少なくとも15分間洗い落とすこと。刺激が生じて長引くときは、医師の手当てをうけること。
経口	水で口内をすすいだ後、多量の水を飲むこと。意識のない者には、何も口から与えてはならない。無理に吐かせないこと。吸引性呼吸器有害性 - 肺に侵入して障害を引き起こすおそれがある。自発的に嘔吐した場合は、誤って汚物が気管に入らないように、頭を腰より下に下げる。直ちに医師の診断/手当てを受けること。
症状	灼熱感、呼吸困難、咳および/または喘鳴、めまい。
応急処置を行う者本人の保護	皮膚、眼または衣類との接触を避けること。医療者が物質の関与を認識していることを確認し、彼ら自身の保護および汚染の拡大を防止するために措置を講じること。皮膚に直接触れないようにすること。口対口の人工呼吸を行う際はバリアを使用すること。指定された個人保護具を使用すること。
医師に対する注意事項	吸引する危険があるので、他の毒性物質の存在によりリスクが正当化されない嘔吐をさせたり胃洗浄を行ったりしてはならない。

## 5. 火災時の措置

Flammable Properties	容器は熱すると爆発することがある。
適切な消火剤	現地の状況および周囲環境に適した消火方法を用いること。
使ってはならない消火剤	利用可能な情報はない。
化学物質または混合物から生じる特有の危険有害性	利用可能な情報はない。
危険有害性燃焼生成物	二酸化炭素。
特殊消火剤	水噴霧でドラムを冷却すること。
消火を行う者のための特別な保護具	消火を行う者は自給式呼吸器および消火活動用の装備を着用しなければならない。個人用保護具を使用すること。

## 6. 漏出時の措置

個人に対する注意事項	皮膚、眼または衣類との接触を避けること。指定された個人保護具を使用すること。十分換気されているか確認すること。人員を安全な区域に避難させること。
その他の情報	項目7および8に記載の保護措置を参照のこと。
緊急時対応要員用	セクション8で推奨されている個人用保護具を着用すること。
環境に対する注意事項	安全に行えるなら、それ以上の漏出または漏洩を防ぐこと。
封じ込め方法	安全に行えるなら、それ以上の漏出または漏洩を防ぐこと。
浄化方法	回収して適切に表示された容器に移すこと。
二次危険有害性の予防	環境規則に従って汚染された物体および区域を十分に浄化すること。
他のセクションを参照	詳細はセクション8を参照。詳細はセクション13を参照。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

<u>取り扱い</u>	
安全取扱注意事項	産業衛生および安全対策規範に従って取り扱うこと。皮膚、眼または衣類との接触を避けること。この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。十分換気されているか確認すること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
<u>保管</u>	
保管条件	容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。施錠して保管すること。子供の手の届かない場所に保管する。他の物質から離して保管すること。
混触危険物質	強酸。強塩基。強力な酸化剤。
一般的な衛生注意事項	皮膚、眼または衣類との接触を避けること。適切な手袋および眼/顔面保護具を着用する。この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 暴露ガイドライン

化学物質名	日本	ISHL作業環境評価基準 - 管理 制御レベル	ACGIH TLV
BHT 128-37-0	-	-	TWA: 2 mg/m <sup>3</sup> inhalable fraction and vapor

生物学的職業性暴露限界値	該当せず
技術的対策	シャワー 洗眼ステーション 換気システム。
<u>Personal Protective Equipment</u>	
眼/顔面の保護	密封性の高い安全ゴーグル。
皮膚および身体の保護	適切な保護衣を着用する。長袖の衣類。
手の保護	適切な手袋を着用する。不浸透性手袋。
呼吸用保護具	通常の使用条件下では保護具は必要ない。暴露限度を超えるか刺激が生じる場合には、換気および排気が必要になる。
環境暴露防止	利用可能な情報は無い。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 物理的及び化学的性質

#### 物理的状态

外觀

臭い

色

臭いのしきい値

ペースト

変化する

無臭

利用可能な情報はない

利用可能な情報はない

#### 特性

pH

融点 / 凝固点

沸点 / 沸点範囲

引火点

蒸発速度

燃焼性(固体、気体)

空気中での可燃限界

燃焼上限

燃焼下限

蒸気圧

蒸気密度

比重

水への溶解度

溶解度

n - オクタノール/水分配係数

自然発火温度

分解温度

動粘性率

粘度

爆発性

酸化特性

#### 値

データなし

75° C

> 205° C

> 121° C

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

不溶性

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

利用可能な情報はない

利用可能な情報はない

#### 備考 方法

知見なし

知見なし

知見なし

知見なし

知見なし

知見なし

知見なし

知見なし

知見なし

知見なし

知見なし

知見なし

知見なし

知見なし

知見なし

知見なし

知見なし

知見なし

知見なし

#### その他の情報

軟化点

分子量

蒸気濃度

かさ密度

粒径

粒径分布

利用可能な情報はない

利用可能な情報はない

利用可能な情報はない

利用可能な情報はない

利用可能な情報はない

利用可能な情報はない

## 10. 安定性及び反応性

反応性

利用可能な情報はない。

安定性

通常の条件下で安定。

爆発データ

機械的衝撃に対する感度

静電放電に対する感度

なし

なし

危険有害反応可能性

通常のプロセスではない。

危険有害性重合作用

危険有害性の重合は発生しない。

混触危険物質

強酸、強塩基、強力な酸化剤。

危険有害な分解生成物

二酸化炭素。

## 11. 有害性情報

### 急性毒性

#### 製品情報

吸入

この化学物質または混合物の特定試験データはない。肺に吸引されると重篤な肺障害を引

き起こすことがある。肺水腫を引き起こすおそれがある。肺水腫は生命に危険なことがある。気道刺激を引き起こすおそれがある。

**眼との接触**

この化学物質または混合物の特定試験データはない。眼に対する重篤な刺激。重篤な眼の損傷。火傷を生じるおそれ。眼に対する不可逆な損傷を引き起こすおそれがある。(成分に基づく)。

**皮膚接触**

この化学物質または混合物の特定試験データはない。繰り返しのばく露が皮膚の乾燥又はひび割れを起こすおそれがある。皮膚刺激。(成分に基づく)。

**経口**

この化学物質または混合物の特定試験データはない。経口摂取すると、胃腸刺激、吐き気、嘔吐、および下痢を引き起こすおそれがある。飲み込んだ場合に吸入する可能性。飲み込むと肺損傷を引き起こすおそれがある。吸入すると肺水腫および肺臓炎を引き起こすおそれがある。飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。

**症状**

発赤、灼熱、失明を引き起こすおそれがある。呼吸困難。咳および/または喘鳴。めまい。眼の発赤および流涙を引き起こすおそれがある。

**毒性の数値尺度 - 製品情報****未知の急性毒性**

- 混合物の 40 %は急性経口毒性が未知の成分から成る
- 混合物の 50 %は急性経皮毒性が未知の成分から成る
- 混合物の 50 %は急性吸入毒性(ガス)が未知の成分から成る
- 混合物の 50 %は急性吸入毒性(蒸気)が未知の成分から成る
- 混合物の 50 %は急性吸入毒性(粉塵/ミスト)が未知の成分から成る

**毒性の数値尺度 - 成分情報**

化学物質名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
n-Octadecyl amine 124-30-1	= 2395 mg/kg (Rat)	-	-
Di propylene glycol 25265-71-8	= 14850 mg/kg (Rat)	> 20mL/kg (Rabbit)	-
BHT 128-37-0	= 890 mg/kg (Rat)	> 2000 mg/kg (Rat)	-

**短期的及び長期的暴露による直後の影響と遅発性の影響及び慢性的影響****皮膚腐食性及び皮膚刺激性**

成分に対して利用可能なデータに基づく分類。皮膚を刺激する。

**眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性**

成分に対して利用可能なデータに基づく分類。火傷を引き起こす。眼に重度の傷害を与えるリスクがある。

**呼吸器感作性または皮膚感作性**

利用可能な情報はない。

**生殖細胞変異原性**

利用可能な情報はない。

**発がん性**

利用可能な情報はない。

下の表は各機関がいずれかの成分を発がん性としてリストアップしているかを示す。

化学物質名	GHS-Carcinogenicity	IARC
BHT 128-37-0		Group 3

**凡例:**

IARC(国際癌研究機関)  
グループ3-ヒトの発がん性に関して分類できない物質

**STOT - 単回暴露**

利用可能な情報はない。

**STOT - 反復暴露**

利用可能な情報はない。

**標的臓器毒性**

呼吸器系。眼。皮膚。中枢血管系(CVS)。消化器系。

吸引性呼吸器有害性 利用可能な情報はない。

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

未知の危険有害性のパーセンテージ 混合物の 40 %は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

生態毒性 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

化学物質名	藻類に対して有毒	魚類に対して有毒	微生物に対する毒性	Daphnia magna (オオミジンコ)
n-Octadecyl amine	-	96h LC50: 1.0 - 10.0 mg/L (Brachydani orerio)	EC50 = 3 mg/L 8 h EC50 = 3 mg/L 120 h	-
Di propyl ene glycol	-	24h LC50: > 5000mg/L (Carassius auratus)	EC50 = 10000 mg/L 16 h	-
BHT	72h EC50: = 6 mg/L (Pseudoki rchneriel asubcapl tata) 72hEC50: > 0.42 mg/L (Desmodesmussubspicatus)	48h LC50: = 5 mg/L (Oryzias latipes)	EC50 = 7.82 mg/L 5 mi n EC50 = 8.57 mg/L 15 mi n EC50 = 8.98 mg/L 30 mi n	-

残留性および分解性 利用可能な情報はない。

### 生物蓄積

### 成分情報

化学物質名	Log Pow
n-Octadecyl amine	6
BHT	4.17

土壌中の移動性 利用可能な情報はない。

移動性 利用可能な情報はない。

その他の有害影響 利用可能な情報はない。

## 13. 廃棄上の注意

残留物/未使用製品からの廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染された梱包 空容器を再利用しないこと。

## 14. 輸送上の注意

### IMDG

国連番号	UN3077
正式輸送品目名	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N. O. S.
危険有害性クラス	9
容器等級	III
EmS - No	F-A, S-F
説明	UN3077, ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N. O. S., 9, III, MARINE POLLUTANT

### ADR

国連番号	UN3077
------	--------

正式輸送品目名 ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S.  
 説明 UN3077, ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S., 9, III  
 危険有害性クラス 9  
 容器等級 III  
 環境危険有害性 該当  
 特別条項 274, 335, 601, 375  
 分類コード M7  
 トンネル制限コード (E)

IATA

国連番号 UN3077  
 正式輸送品目名 ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S.  
 危険有害性クラス 9  
 容器等級 III  
 ERG コード 9L  
 説明 UN3077, ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S., 9, III

日本

UN番号 UN3077  
 正式輸送品目名 ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S.  
 危険有害性クラス 9  
 容器等級 III  
 特別条項 BK2, 274, 335

## 15. 適用法令

化学物質又は混合物に固有の安全、衛生及び環境規則/法令国際規則日本

環境汚染排出・移動登録 (PRTR)  
 該当せず

## 労働安全衛生法

## ISHL 要届出物質

ISHL (労働安全衛生法規則) 通知物質—情報 (安全データシート) を供給すべき物質；労働安全衛生法施行令別表第9 (労働安全衛生法第57条の2およびISHL規則第34条の2の4関係)

## 海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律 (化審法)

下表は、関連事項と考えられるカットオフ値を超えて存在する、記載されている成分を示す

化学物質名	Japan - Chemical Substance Control Law (CSCL)
n-Octadecyl amine 124-30-1	優先評価化学物質
BHT 128-37-0	優先評価化学物質

国際規則

オゾン破壊物質 (OD) 該当せず

残留性有機汚染物質 該当せず

輸出届出要件 該当せず

国際インベントリー

TSCA インベントリー準拠状況につきましては供給者までお問い合わせ下さい。  
 DSL/NDSL インベントリー準拠状況につきましては供給者までお問い合わせ下さい。  
 EINECS/ELINCS インベントリー準拠状況につきましては供給者までお問い合わせ下さい。  
 ENCS インベントリー準拠状況につきましては供給者までお問い合わせ下さい。  
 KECL インベントリー準拠状況につきましては供給者までお問い合わせ下さい。



PICCS インベントリー準拠状況につきましては供給者までお問い合わせ下さい。  
AICS インベントリー準拠状況につきましては供給者までお問い合わせ下さい。

**凡例**

TSCA - 米国有害物質規制法セクション8(b)、インベントリー  
DSL/NDSL - カナダ国内物質リスト/非国内物質リスト  
EINECS/ELINCS - 欧州既存商業化学物質インベントリー/欧州新規届出商業用化学物質リスト  
ENCS - 化審法の既存・新規化学物質  
KECL - 韓国既存化学物質目録  
PICCS - フィリピン化学品・化学物質インベントリー  
AICS - オーストラリア化学物質インベントリー (Australian Inventory of Chemical Substances)

**16. その他の情報**

作成者 Product Stewardship  
23 British American Blvd.  
Latham, NY 12110  
1-800-572-6501

発行日 11-10-2016

改訂日 11-10-2016

改訂記録 利用可能な情報はない

**安全データシートで使用される略語および頭文字のキーまたは凡例****セクション8：ばく露防止及び保護措置**

TWA	TWA (時間加重平均)	STEL	STEL (短時間暴露限度)
天井値	最大限界値	-	皮膚兆候
C	発がん物質		

**免責事項**

このSDSは、JIS Z 7250:2010およびJIS Z 7252:2009(日本)の要件に準拠している。この安全データシートに記載されている情報は、その発行日の時点において、我々の知識、情報および信念のおよぶ限りにおいて正確なものです。ここに提示されている情報は、安全取扱、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、および放出の指針とすることのみを目的としたものであり、保証または品質仕様と考えるべきものではありません。この情報は、指定された特定の物質にのみ関連するものであり、本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と併用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。



このSDSは、以下で特定されている供給者がUL SDSテンプレートを用いて作成したものです。ULは、このSDSに記載されている物質について、試験も、証明も、承認もしておらず、このSDSに記載されている全ての情報は供給者が提供または一般公開されている規制データ源から転載したものです。ULは、このSDSに記載されている情報の完全性に対しても、正確さに対しても、一切の表明も保証も行わず、さらにこの情報の使用に対しても、このSDSに記載されている物質の使用に対しても、一切の責任を否認します。このSDSのレイアウト、外観および書式はUL LLCの著作物です。(c) 2014 UL LLC. 著作権所有。

安全データシートの終端